

令和5年度 乳がん地域連携クリティカルパス勉強会

服薬アドヒアランス向上を目指した 乳がん地域連携パスの取り組み

松江赤十字病院

がん地域連携パスコーディネーター看護師

○山本百希子 佐藤美幸

はじめに

- 2011年より乳がん地域連携パスを開始
- その後、生活習慣病予防に対応したパスに更新
- 2021年より患者支援体制を強化するため、調剤薬局を含めた連携パス(以下薬局連携)へと更新した。
- 評価の結果、システムが定着しておらず薬剤師が介入しにくい現状であることが明らかとなり、アドヒアランスの向上を目指し、薬局連携が効果的にできるよう連携パスの見直しを行った。

薬局連携

地域連携クリティカルパス

情報をつなぐ地域
とのチーム医療

診療情報提供書

情報共有

連携医療機関

普段の診察
内服薬の処方

拠点病院

半年毎の専門的な
診察・検査

2021年～

- 服薬指導
- 服薬開始 2 週間の
電話訪問
- 残薬確認・副作用
症状の確認
- BMI の計算→
『私のカルテ』へ記入

私のカルテ

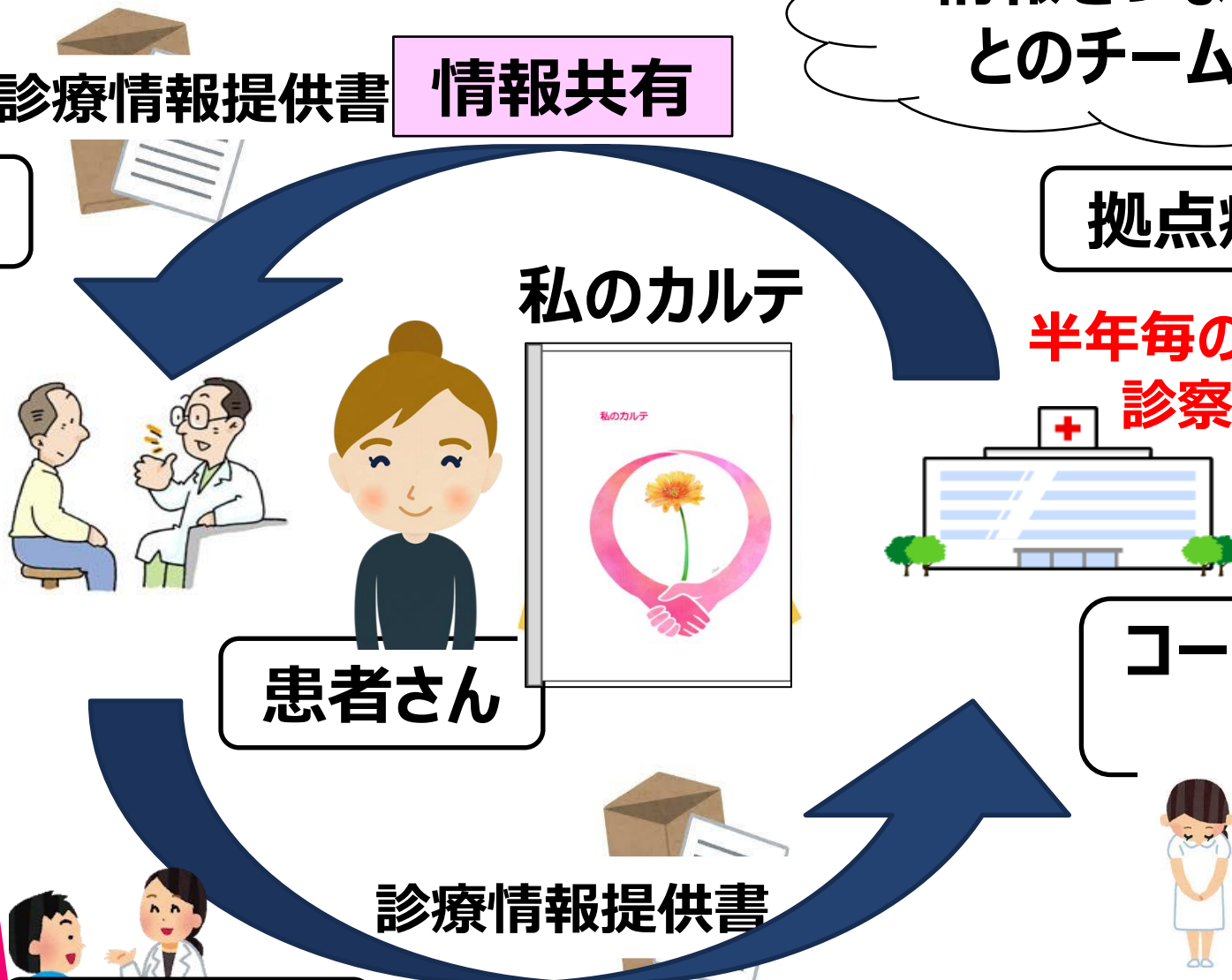
患者さん

診療情報提供書

調剤薬局

情報共有

コーディネーター
看護師



薬局連携開始後1年での現状調査

私のカルテを
出さない
患者さんもいる

私のカルテを使うと
コミュニケーションが
とりやすい

私のカルテは薬局でも
出さないといけないの？



患者さん

誰が 連携患者
なのかわからない

連携患者が少な
いので私のカルテを
見たことがない



薬剤師

薬を飲めていない人
やめてしまう人は
少なくない



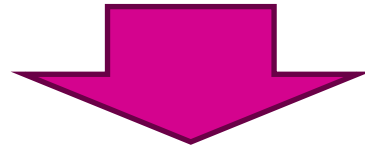
拠点病院 医師

薬剤師の協力
は必要だ

薬局連携開始後1年での現状調査

調査して感じたこと

- ・ 医療者間でも認識の違いがある
- ・ 医療者が患者に必要性を伝えられていない



システムが定着しておらず、薬剤師が介入しにくい

ホルモン療法に関する文献より

○ 治療後の経過に伴いアドヒアランスは低くなる

- ・ **3年後**は服薬の**継続率が低下**する報告がある
- ・ **服薬率90%未満**の場合、**再発や死亡リスク61%**と**優意に増加**する
- ・ ホルモン療法に関する**患者と医療者とのコミュニケーションの頻度が服薬アドヒアランスと優意に関連**している

- アドヒアランスを維持することは長期生存・予後の改善に重要
- ホルモン剤の服薬自己管理・薬局を含めた医療機関との連携の重要性を再認識！

薬局連携の強化

『私のカルテ』の活用

方法

1. パスシート及び『私のカルテ』の書式を変更
2. 『ホルモン療法を受けられる方へ』リーフレットの作成
3. 連携医療機関・薬局との勉強会や訪問による変更点の周知
4. 変更後の評価
 - 1) 変更後のパス使用中の乳がん患者21名に対して、電子カルテからの情報収集とインタビューによる聞き取り調査
 - 2) 調剤薬局と連携医療機関に対して、電話で聞き取り調査

1. パスシート及び『私のカルテ』の書式を変更

● 従来のパスシート
がん診療拠点病院と連携医療機関の
医師同士の役割を中心に記載

● 変更後のパスシート
薬剤師も追記し、**患者さんを中心に**
それぞれの役割を明確に記載

患者ID: _____ 患者氏名: _____

乳がん術後ホルモン治療における連携パス（患者さん用）

達成目標

1. 定期受診・検査を受けましょう
2. 『私のカルテ』を活用し、体調に注意し記録しておきましょう
3. 生活習慣病にも注意していきましょう

わたしの目標

体重 ()
血圧 ()
血糖・HbA1c ()
LDLコレステロール ()
中性脂肪 ()
その他 ()

● 投薬期間は1～3カ月（通院日の判断で）
● 腫瘍マーカーは基本的に拠点病院で検査を行います。
● 婦人科検診、腹部エコーなど連携医で行われる場合もあり
● 病院受診時は、連携医と拠点医で紹介状をやりとりする
● 治療目標は連携医と患者で相談し決める

術式
ホルモン剤 ☐ 乳切 ☐ 温存 ☐ 腋窩リンパ ☐ センテネルリンパ節生検 ☐ 閉経前 ☐ 閉経後 ☐ 閉経後
抗エストロゲン剤 ☐ 抗エストロゲン剤 ☐ LH-RHアナログ ☐ アロマターゼ阻害剤 (AI剤) ☐ 薬剤変更日 _____

放射線治療 ☐ あり ☐ なし

連携・連絡	術後連携の説明 併存疾患・処方内容の確認 再発、副作用等発生時の連絡先確認	松江日赤 手術日 年 月 日	～5ヶ月 年 月 日	松江日赤 6ヶ月 年 月 日	7～11ヶ月 年 月 日	松江日赤 1年 年 月 日	1年1～5ヶ月 年 月 日	松江日赤 1年6ヶ月 年 月 日
診察	問診 問診表を参照	●	●	●	●	●	●	●
検査	末梢血一般 生化学 腫瘍マーカー（CEA、CA15-3）（6カ月毎） マンモグラフィ 乳腺エコー 胸腹部骨盤CT/PET/骨シンチ （腹部エコー） 婦人科検診（TAM/TOR剤服用時） 骨密度測定（AI剤服用時） 生活習慣病に関する検査・診察	●	●	●	●	●	●	●
投薬	処方 ☐ TAM/TOR（年 月 日～年 月 日） ☐ AI（年 月 日～年 月 日） 注射 ☐ ゴラデックス ☐ リュープリン 服薬状況の確認 併用薬チェック	●	●	●	●	●	●	●
説明 支援	患者用パス 他臓器がんの検診について 副作用対策 服薬指導 生活支援	●	●	●	●	●	●	●

松江赤十字病院 Ver2.0 2018.11.30改訂

拠点病院
医師

拠点病院
看護師

患者さん

連携
医療機関

調剤薬局

連携医	1年	1年6ヶ月	2年
拠点病院 医師	● 受診後 情報提供書送付	● 受診後 情報提供書送付	● 受診後 情報提供書送付
検査	● 6か月毎チェック ・視触診 ・採血（腫瘍マーカー）	● 1年毎チェック ・視触診 ・採血（腫瘍マーカー） ・マンモグラフィ ・乳腺エコー （十画像検査）	● 6か月毎チェック ・視触診 ・採血（腫瘍マーカー）
治療	● 1年毎チェック ・視触診 ・採血（腫瘍マーカー） ・マンモグラフィ ・乳腺エコー （十画像検査）	● 6か月毎チェック ・視触診 ・採血（腫瘍マーカー）	● 1年毎チェック ・視触診 ・採血（腫瘍マーカー） ・マンモグラフィ ・乳腺エコー （十画像検査）
拠点病院 看護師	◇ 導入 ・連携パス・『私のカルテ』説明 ・かかりつけ医・かかりつけ薬局の選定 ・薬局連携のリーフレットを渡す	◇ 面談 ○ 自己チェック シートのさしかえ	◇ 面談 ○ 自己チェック シートのさしかえ
患者さん	★ 拠点病院へ通院 年 月 日 ● 紹介状持参	★ 拠点病院へ通院 年 月 日 ● 紹介状持参	★ 拠点病院へ通院 年 月 日 ● 紹介状持参
連携医	◆ 『私のカルテ』の自己チェックシートを毎日記入、連携医と拠点病院の受診時に提出、お薬をもらう時に薬局にも提出a	◆ 『私のカルテ』の自己チェックシートを毎日記入、連携医と拠点病院の受診時に提出、お薬をもらう時に薬局にも提出a	◆ 『私のカルテ』の自己チェックシートを毎日記入、連携医と拠点病院の受診時に提出、お薬をもらう時に薬局にも提出a
調剤薬局	◆ リフレットを用いて説明 ◆ ホルモン剤開始2週間後に電話訪問 ◆ 副作用等あれば処方元へ情報提供 ◆ 『私のカルテ』を確認・残薬チェック・副作用チェック・BMI記入	◆ リフレットを用いて説明 ◆ ホルモン剤開始2週間後に電話訪問 ◆ 副作用等あれば処方元へ情報提供 ◆ 『私のカルテ』を確認・残薬チェック・副作用チェック・BMI記入	◆ リフレットを用いて説明 ◆ ホルモン剤開始2週間後に電話訪問 ◆ 副作用等あれば処方元へ情報提供 ◆ 『私のカルテ』を確認・残薬チェック・副作用チェック・BMI記入

- ・ 副作用
- ・ 乳房自己チェック
- ・ 残薬

[illegible]

1. パスシート及び『私のカルテ』の書式を変更

変更後の 自己チェックシート

※毎日記入欄
見開き1カ月

血圧や脂質の値などの
測定値
検査データをもとに
患者自身が記入

【患者さん用】 乳がん術後連携パス 自己チェックシート 術後 〇年 〇か月

2022 年

10 月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
内服	○	○	○	○	○	○	○	○
ほてり、発汗								
頭痛	○							
食欲低下								
倦怠感								
落ち込み								
不眠								
不正出血								
おりものの異常								
関節痛、こわばり								
受診・残薬確認								
その他	14時痛み止め飲んだら頭痛よくなった	手のむくみになる	手のむくみ、大丈夫だっ て、55kg		今日は眠れた			

	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
内服	○	×	○	○	○	○	○	○
ほてり、発汗								
頭痛								
食欲低下								
倦怠感								
落ち込み								
不眠								
不正出血								
おりものの異常								
関節痛、こわばり								
受診・残薬確認								
その他								

	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
内服								
ほてり、発汗								
頭痛								
食欲低下								
倦怠感								
落ち込み								
不眠								
不正出血								
おりものの異常								
関節痛、こわばり								
受診・残薬確認								
その他								

	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
内服							
ほてり、発汗							
頭痛							
食欲低下							
倦怠感							
落ち込み							
不眠							
不正出血							
おりものの異常							
関節痛、こわばり							
受診・残薬確認							
その他							

測定日(10 / 22)

血圧	110/70
血糖	70
HbA1c	8.1
LDLコレステロール	110
中性脂肪	94

自己チェック日(10 / 20)

乳房にしこりがない	✓
皮膚のへこみ、ひきつれがない	✓
手術後の周囲に赤み、熱感がない	✓
乳房のへこみやただれがない	✓
わきの下に硬いものが触れない	✓

患側上肢の制限

右上肢 ・ 左上肢

採血・血圧測定禁止

連絡事項

体重(10/21)

55.8

BMI(10/21)

22.4

薬剤師

印

・ 内服
・ 副作用自覚症状チェック

その他の欄には 気になること
血圧や体重測定値など自由記載欄

月に1度の 乳房自己チェック

おりものの異常									
関節痛、こわばり									
受診・残薬確認									
血圧や脂質の値などの測定値 検査データをもとに 患者自身が記入					月に1度の 乳房セルフチェック				

測定日(10 / 22)

血圧	110/70
血糖	70
HbA1c	6.1
LDLコレステロール	110
中性脂肪	94

自己チェック日(10 / 20)

乳房にしこりがない	✓
皮膚のへこみ、ひきつれがない	✓
手術痕の周囲に赤み、熱感がない	✓
乳頭のへこみやただれがない	✓
わきの下に硬いものが触れない	✓

連絡先

月日	誰に	内容	サイン

患者さんだけでなく、医療スタッフが記入して
情報交換を行うページとして使用

メッセージのページ

パス導入時に・・・

ホルモン療法の継続の必要性

薬剤師を含め多職種で連携し
サポートさせていただくこと

患者さんも連携のチームメンバー
の一員として『私のカルテ』を
記入・提出いただくよう説明する

ホルモン療法の目的は、病気を治すことです。
治療期間が長く、続けることに不安があると思います。
決められた期間、飲み忘れをなくすことで、
治療効果が上がると言われています。

しかし、5年間で約4割(38%)の患者さんが
ホルモン療法を中断していたという報告もあります。

(Hagen KB et al. Breast 2019; 44: 52-58)

【地域連携パス】とは・・・

地域のかかりつけ医（連携医）と拠点病院の医師が
あなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。

【地域連携パス】を活用して、

連携医と拠点病院、調剤薬局が協力して、
治療を受けることができるよう支援します。

続けるための第1歩は、つらいとき誰かに伝えること



ガーベラ 花言葉
『希望』 『常に前進』

3. 『ホルモン療法を受けられる方へ』リーフレットの作成

ホルモン療法を受けられる方へ



手術や放射線治療の次にホルモン療法を行います。治療期間は、5～10年です。治療期間が長く、続けることに不安を感じられる方もいらっしゃると思います。かかりつけ医、保険調剤薬局と協力して、あなたが治療を続けられるよう支援していきたいと思っています。

1. ホルモン療法とは

エストロゲン（以下、女性ホルモン）で、増殖するタイプの乳がんに対して、女性ホルモンの働きを抑える「ホルモン剤」を飲む、または注射する治療です。閉経前後で、薬の種類が違います。

2. ホルモン療法で大事なことは

手術後で、ホルモン剤を中断した患者さんは、決められた服薬期間を飲みきった患者さんと比較すると生存率が低かったとの報告があります。（Breast Cancer Res Treat. 2011 Apr;126 (2):529-538）

❶ 定期的に診察を受け、処方された薬を忘れずに飲み続けることが大切です。

3. ホルモン療法の副作用と対応の仕方

1) 副作用について

ホルモン剤	時期	副作用
抗エストロゲン剤 ・タモキシフェン ・フルビタム（フルビタム）	閉経前 閉経後	・更年期障害（ホットフラッシュ：ほてり、発汗、のぼせ） ・無月経、月経異常（おりものや痛み）

(3) 骨粗しょう症

・カルシウムは、牛乳、チーズ、ヨーグルトなどの乳製品、骨ごと食べられる小魚、豆腐や納豆などの大豆製品、野菜類や海藻などに多く含まれます。なかでも、牛乳や乳製品は、他の品に比べてカルシウムの吸収率が高いうえに1度に多くの量を摂ることができるので、おすすめです。



(4) 関節痛・こばり

・起き上がる前に布団の中で、手を握ったり開いたり、手足を動かしてみましょう。
・痛みを我慢せず、医師に相談してください。鎮痛剤、漢方を使うことで、痛みが和らぎ生活がしやすくなります。

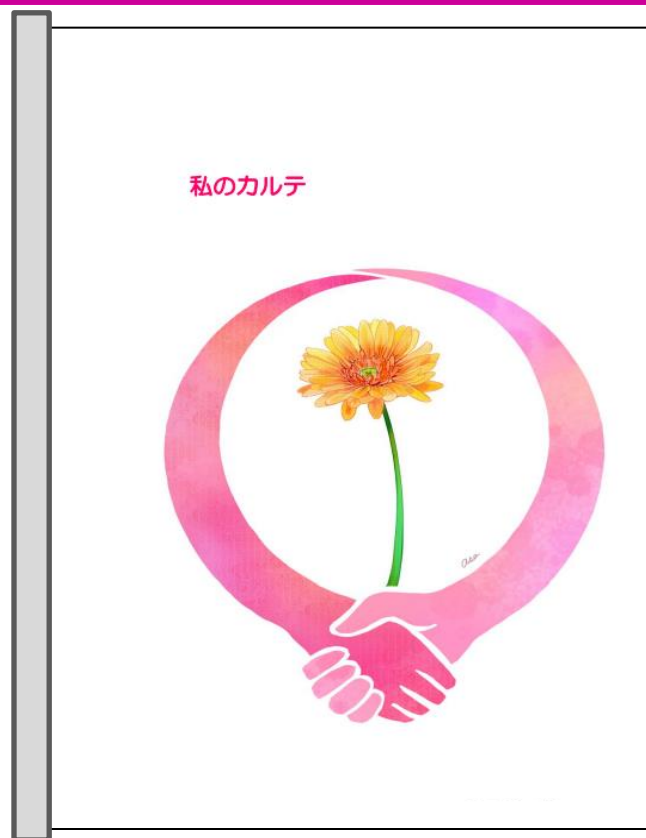
(5) イライラ・落ち込み・不眠

・女性ホルモンには、気持ちや自律神経を安定させる作用があります。ホルモン療法は、女性ホルモンを抑えるためホルモンバランスが崩れ、イライラしたり、落ち込んだり、眠れなくなったりすることがあります。体と心の緊張や不安をゆっくりやわげるためリラクゼーションを試してみましょう。
いろいろな方法がありますが、大切なことはあなたに合った心地よい方法を見つけることです。
例：旅行、温泉につかる、アロマ、音楽を聴く、体を動かす等
・眠れないときは、医師に相談して薬剤を処方してもらいましょう。

薬局連携の必要性を伝え・治療を続けるために

- ・ 忘れずに服薬することが、治療効果につながる
- ・ 副作用に対して、セルフケアできるための情報を記載し、導入時にコーディネーター看護師が動機づけを行う

2022年9月から連携開始
となった方は改訂版を使用
現在 24 名



- 以前より連携中の方
- ホルモン治療なしの連携パス
は従来の私のカルテを使用



4.変更点の周知

- 変更点を連携医療機関・薬局との勉強会で周知
(調剤薬局15施設、薬剤師15名参加)
- 個別に訪問し説明
- 松江市薬剤師会を通し
各調剤薬局への周知を依頼

調査の結果

【期間】 2022年8月～2023年11月

【新規導入患者】 24名

【年齢】 42～93歳（平均69歳）

【病期】 0～ⅡB期

【術後ホルモン療法】 アロマターゼ阻害薬内服(18名)
抗エストロゲン薬(6名)

【連携医療機関の地域】 松江市（20件）
安来市（2件） 雲南市（2件）

【調剤薬局訪問】 16件

【資料送付・電話での説明】 2件

結果 改訂版『私のカルテ』使用状況・患者さんの感想

毎日ノートをつけることは苦でない。服薬、副作用チェック以外にも、他科受診日、排便状況など日記の様に記録している。(70歳代)

内服の項目と月1回受診時の血圧を記入、副作用症状は今はないので空欄にしている。(40歳代)

記録はできないが、『私のカルテ』があることで「飲まないといけない」という気持ちになり、飲み忘れはなかった。(60歳代)

『私のカルテ』は自分では書けず、押し車のポケットに入れている。薬剤師さんが訪問サービス時に内服の欄にチェックし、副作用症状も項目に沿って確認してもらっている。(80歳代)

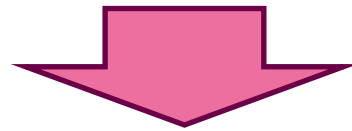


患者さん

考察 改訂版『私のカルテ』使用状況・患者さんの感想

自身の生活に合わせて使い方は様々

『私のカルテ』の毎日の記入や携帯により



服薬の習慣化につながる



患者さん

結果

調剤薬局 薬剤師からの感想

新たに連携開始となった患者さんは『私のカルテ』を提出されている。
残薬確認や服薬指導がしやすい。

月1回の記入よりも日々の様子を確認でき、副作用症状に沿って話を聞きやすい。

連携開始初期は、『私のカルテ』に体重を記入せず薬局へ提出していた患者さんへ薬剤師が声かけを行い、毎月の体重測定と記入が定着し、BMIの計算がしやすくなった。



考察

調剤薬局 薬剤師からの感想

導入時に説明を行うことや、薬剤師からの声かけにより、
患者が薬局へ『私のカルテ』を提出し、
医療者間で情報共有されている。



薬剤師を含めた連携パスとなっている



Aさん 40歳代 タモキシフェン内服 術後3カ月

内服	○	○	○	○	○	○	○	○
ほてり、発汗								
頭痛								
食欲低下								
倦怠感								
落ち込み								
不眠								
不正出血								
おりものの異常								
関節痛、こわばり	○	○	○	○	○	○	○	○
受診・残薬確認								
その他			生理	→				

	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
内服	○	○	○	○	○	○	○	○
ほてり、発汗								
頭痛								
食欲低下								
倦怠感								
落ち込み	○	○	○	○	○			
不眠								
不正出血								
おりものの異常								
関節痛、こわばり	○	○	○	○	○			
受診・残薬確認								
その他	午後4時に服薬			右胸痛	右胸痛	右胸痛		

測定日 (9/15)	
血圧	124/84
血糖	
HbA1c	
LDLコレステロール	
中性脂肪	

自己チェック日 (/)	
乳房にしこりがない	✓
皮膚のへこみ、ひきつれがない	✓
手術痕の周囲に赤み、熱感がない	✓
乳頭のへこみやたれがない	✓
わきの下に硬いものが触れない	✓

内服	○	○	○	○	○	○	○	○
ほてり、発汗								
頭痛								
食欲低下								
倦怠感								
落ち込み								
不眠								
不正出血								
おりものの異常								
関節痛、こわばり				○		○	○	
受診・残薬確認								
その他				下腹部痛	下腹部痛	〃	〃	

	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
内服	○	○	○	○	○	○	○
ほてり、発汗							
頭痛							
食欲低下							
倦怠感							
落ち込み							
不眠							
不正出血							
おりものの異常							
関節痛、こわばり							
受診・残薬確認							
その他		動悸	→	〇〇クリニック 心電図 ピソプロロールフマル			残なし

連絡事項	体重(9/15)	BMI(9/15)
	56.2	21.68

24

内服	○	○	○	○	○	○	○	○
ほてり、発汗								

内服	○	○	○	○	○	○	○	○
ほてり、発汗								

- 

患者さん

その他			生理					
-----	--	--	----	--	--	--	--	--

その他				下腹部痛	下腹部痛	〃	〃	
-----	--	--	--	------	------	---	---	--



連携医療機関
医師

受診・残薬確認							
	午後 4時			右胸	右胸	右胸	

[illegible]

薬剤師

まとめ

- 連携パス導入時に服薬継続の大切さや『私のカルテ』記入の動機づけを行うことで**患者の主体性を促し**、服薬・記入が習慣化することが期待できる。
- 患者が記入した『私のカルテ』を医療者が見ることは、**患者の自己管理を評価**する機会となり、服薬アドヒアランス維持につながることが期待できる。
- 薬局連携は『私のカルテ』をコミュニケーションツールとし、残薬確認や服薬指導など薬剤師の役割発揮ができ、薬局を含めた**多職種での介入**が服薬アドヒアランスの向上に繋がると考える。

今回の取り組みを通して…

- 多職種での介入がアドヒアランスに効果的であることを実感
- 薬局連携の件数の増加、安来、雲南、隠岐へと地域を拡大していきたい
- 患者さんの服薬状況や『私のカルテ』の使用状況を調べ、連携に関わる多職種の方のご意見を伺いながら、今後も地域連携パスの質の向上を目指したい

引き続き、地域連携パスへのご協力をよろしくお願いします



ご清聴ありがとうございました。

